

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### ②施設・事業所情報

名称：桑の実馬場保育園	種別：地域型保育事業（居宅訪問型保育事業除く）
代表者氏名：岡田 直美	定員（利用人数）： 19名（20名）
所在地：〒230-0076 横浜市鶴見区馬場 1-20-12	
TEL：045-633-1303	
ホームページ： <a href="https://kuwanomikai.jp/">https://kuwanomikai.jp/</a>	

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日	2015年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）	社会福祉法人 桑の実会	
職員数	常勤職員： 9名	非常勤職員： 2名
専門職員	保育士 8名	栄養士 1名
	調理師兼子育て支援員 1名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	保育室1室、調理室1室、事務室1室	鉄骨造。冷暖房完備。警備会社の防犯サービスを導入しています。

桑の実馬場保育園は、東急東横線/JR 横浜線 菊名駅から横浜市営バス 41 系統 鶴見駅西口行「わたうちだに」下車徒歩3分のところに位置しています。周りはまだ緑が多く残されている閑静な住宅街にあります。建物は1階平屋建てで、園庭はほとんどありませんが、公園が隣にあり気軽に利用することができます。また、近くには、小さな溪流のある公園があったり、JR 横浜線を見ることができる広い安全な道路もあり、散歩時には子どもたちにとって変化に富む散歩コースとなっています。

園は2015年4月、社会福祉法人桑の実会によって開設されました。運営法人は、埼玉県所沢市に本部があり、埼玉県、東京都、神奈川県で保育、介護、医療の分野で事業を展開しています。横浜市では当園を含めて3園の保育園を運営しています。

当園は0～2歳までの定員19人までの小規模保育事業A型の認可保育園です。開設時間は7時～19時となっています。

### ③理念・基本方針

法人理念：その子らしさとその人らしさを求めて

桑の実会保育部コンセプト：誰もがうらやむ ステキな保育

桑の実馬場保育園のモットー

にこにこやさしくおひさまのように ゆっくりじっくり かめさんのように おおきくな～れ♪

保育目標

1. くつらぎとやすらぎの空間
2. わくわくを大切にする
3. のびのびを大切にする
4. みんなえがお
5. 明るく楽しい馬場保育園

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

0歳から2歳までのお子様をお預かりする小規模保育事業A型の認可保育園です。  
閑静な住宅街の中にあり壁面緑化が施された建物の中は家庭的で温かな雰囲気です。  
地域から愛され信頼される小さな保育園は大きな家族のように夢や希望がいっぱいです。

桑の実馬場保育園は・・・太陽のように明るく、あたたかく、大きな心を育みます

桑の実馬場保育園は・・・その子らしさを尊重し、一步一步確実な歩みに寄り添います

桑の実馬場保育園は・・・愛着形成を軸に、心と身体の成長を見守ります

桑の実馬場保育園は・・・徹して一人を大切にします

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年7月15日（契約日）～ 2023年1月19日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回

#### ⑥総評

##### ◆特長や今後期待される点

##### 【特長】

##### ・園に対する保護者の信頼感が非常に高く、職員との関係が良好に保たれています

今回の保護者アンケート調査では回収率が95%と非常に高く、園に対する満足度で「満足している」が実に89.5%と極めて高い数値です。これに「どちらかという満足」10.5%で100%が満足している結果が得られました。この結果を説明する背景として、職員が子どもたちを大切に見ていて、連絡帳だけではなく、毎日の登園・降園時の保護者とのコミュニケーションが密に取れていることがあげられます。どの職員もそれぞれのその子どもの様子をよく知っていて、親に伝えることができ、何かあるときはすぐに相談にのれる体制も作られており、親からの園に対する信頼感が醸成されています。

##### ・保育士は様々な役割を担当し、楽しんでます

小規模保育園であることから、職員は何でもこなす必要があります。例えば、保育室が広くないため、それぞれの年齢ごとに保育室があるのではなく、大きな保育室をコーナーで分けて使用しています。その仕切りはビニールや段ボール、布で作成した仕切り板、低いロッカーなどを使っていますが、これらは既成のものではなく、職員が手作りで作成したものです。簡単に動かせるので、どんなコーナーや通路も必要に応じて作ることができます。また、おもちゃなども多くは手作りで作成していて、コロナ禍では消毒も頻繁に行っています。給食について調理士や栄養士に現場の意見を述べて、子どもたちが食べやすい工夫を伝えています。毎月の園内研修会では、それぞれの職員が講師として参加し、自分で受けた研修や研究した内容を伝えるなど、それぞれの得意分野を生かして、お互いに知識を高めるなど、自分たちで出来ることを増やして園を支えています。

##### 【今後に期待される点】

##### ・事業計画の策定、見直しを職員の参加のもとで実施していくことが期待されます

事業計画は現在、園長が年度末に作成し、年度末の職員会議に諮って決定しています。園では職員による自己評価と同時に保護者による園の評価も実施しています。このような振り返りの材料が豊富にあるにもかかわらず、これらの材料が必ずしも次年度の事業計画には生かされてはいません。職員も自己評価に加わっているため、それらの意見を取り入れながら、次年度の事業計画を策定していくことにより、期の中間時点でも実現の程度が評価でき、必要ならば計画を修正していくことも可能かと考えられます。職員が事業計画に参加することで、全員が同じ思いをもって園の運営に当たることができることとなります。さらに、中長期計画の見直し、あるいは作成につながっていくことが期待されます。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価の受審にあたり、お忙しい中アンケートにご協力くださった保護者の皆様、市民セクターよこはまの調査員・スタッフの皆様に、まずは感謝申し上げます。ありがとうございました。

法人姉妹園の協力を得ながら職員間で何度も勉強会と協議を重ねて、当初自分達で出した評価は厳しめのものでした。それは今後の伸びしろを信じ、さらなる高みを目指して、より良い園運営を行っていきたいと考えた私達の結論だったからです。しかしながら最終的に高い評価をいただくことができ、今まで取り組んできたことや、積み重ねてきたことが、多くの皆様に伝わっていたことが喜びと自信へ繋がり、大変嬉しく思いました。

今回あらためて振り返りを行い、より子ども達への愛情を深め大切にすることを確認し合うなど、想いを共有することができ、職員一人ひとりが保育の仕事に対するやりがいや醍醐味を実感するなど貴重な経験となりました。見えてきたことや深めていきたい課題を様々な角度から検証し、柔軟な対応と具体的な取り組みで、保護者の皆様の声や、このような機会を持つことができ本当に良かったという職員達の思いに応えていきたいと思えます。

刻々と変化していく社会の中で、その子らしさとその人らしさを求めていく当法人の基本理念に基づき、これからも一人ひとりを大切にする福祉の実現を追求し、私達の合言葉「皆で仲良く元気に 地域に福祉に感動を！」を胸に子どもも大人も皆の笑顔があふれるより良い園づくりに励んでまいります。

社会福祉法人桑の実会 桑の実馬場保育園  
園長 岡田直美 ・ 職員一同

## ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり